

玄関めぐり

目安の所要時間 90 ~ 150 分

おすすめ
展示棟番号



視点

玄関に注目するコースです。

建物ごとの玄関のつくり注目しながらめぐってみましょう。



引き戸

在来の住宅には出入口に引き戸を用いるものが多く、玄関も例外ではありません。設置スペースも最小限で済み、鴨居と敷居に溝をつけるだけで安定した開閉が可能な引き戸はつかえ棒一本で施錠代わりとすることもでき、安価で利便性の高い建具として重宝されました。



旧有島家住宅の玄関

開き戸・ドア

国内の事例で確認できる最古の開き戸としては、1350年前に建立された法隆寺金堂の入り口が挙げられます。開き戸には内開きと外開きがあり、古い建築物では城門・屋敷門などの門扉に、保安のために閉止めできる内開きのものが多くみられます。現代日本では外開きの玄関が多いことが知られますが、開拓の村では玄関の戸に内開き・外開きの両方を見ることができます。実際の建物の作りを確認していくと、外開きを選択した理由を発見できるかもしれません。



旧武井商店酒造部工場の扉

玄関のない家

現代では、建物の入口のことを総じて「玄関」と呼んでいますが。元々は仏教（禅宗）用語として伝えられたもので寺院の入口を指す言葉でした。次第に、貴族や武士の屋敷の入り口を指すようになります。この特別な入口が様式化して、取次の間の上がり框の前に式台もしくは小縁を設置したものを玄関と呼ぶようになりました。

式台は身分の高い客を迎えるための場で、庶民の生活には不要なものとされました。明治時代に入るまでは「玄関」は一般的な存在ではなく、家作の規制対象にもなりました。住宅の出入口は「表戸（口）」などと呼ばれ、土間から直接上がり框に腰掛けるような作りだったのです。開拓の村の建物も、こうした視点で見えていくと、玄関を備えない旧来型の住宅を複数確認できます。

市街地群の住宅の玄関

としせいかつしゃ
都市生活者の住宅の玄関について、さまざまな形を見比べることが出来ます。家族の人数や来客の頻度^{ひんど}など、住宅の使われ方が玄関の形状にも影響しています。

③旧手宮駅長官舎



④旧開拓使爾志通洋造家 (白官舎)



⑤旧福土家住宅



⑥旧松橋家住宅



⑦旧有島家住宅



学校に關係する建物の玄関

きょうしよくいん
毎日多くの学生や教職員が出入りした玄関の作りはどのようなものだったでしょうか。当時の学生の服装^{ふくそう}などをイメージして、住宅の玄関との違いを探してみましょう。

⑪旧北海中学校



⑩旧札幌農学校寄宿舎 (恵迪寮)



⑪旧札幌師範学校武道場



漁村群の住宅の玄関

たてあみ ぼんや
多くの漁労者を必要とするニシン建網漁の番屋機能を持った青山家住宅と、いそまわ
磯回り漁と共に少人数を雇い入れてのニシン刺網漁を営んだ秋山家住宅。ニシン漁期の生活をイメージしてご覧下さい。

ずいしよ
青山家の玄関は、屋根の造りにも随所にこだわりが見られます。



⑬旧青山家漁家住宅



⑭旧秋山家漁家住宅

農村群の住宅の出入口

とうしゅう
通路、作業場にもなった出入口で、必ずしも玄関としての造りを踏襲していません。在来型の家屋の出入りはどのようであったのかをうかがい知れます。

⑮旧納内屯田兵屋



⑯旧樋口家農家住宅



⑰旧岩間家農家住宅



⑱旧菊田家農家住宅



玄関の敷居は傷みやすく交換の難しい部分です。「敷居を踏んではいけない」日本のマナーにご留意いただけますと幸いです。